

腰椎・腰髄MRIのご紹介

当院のMRI部門では、月に約150件の腰椎・腰髄MRI検査を施行しております。
対象としている症例は、ヘルニア・脊柱管狭窄症・分離症（主に小学生～高校生）・圧迫骨折・腫瘍・がん転移・交通事故など外傷後の精査等、多岐にわたっております。

基本的には、**T2強調画像の矢状断・水平断とT1強調画像の矢状断の画像から評価をしております、検査時間は約15分程度**です。主訴や病態に応じて、冠状断・脂肪抑制・造影・3Dシーケンス（主に側弯が強い患者様に使用して再構成画像を作成）などを追加しております。

依頼時に必要な画像をご指定頂ければ、追加して撮像する事も可能です。

また、当院には**MRI装置が5台あり、そのうち2台がワイドボア**（MRIの筒の部分の直径が通常60cmに対して70cm）の装置です。閉所恐怖症の方はもちろんのこと、腰の痛みが強く、仰向けの姿勢がとれない患者様に対しては、**側臥位にて検査する事も可能**です。体格が大きな方でも体重150kgまでは問題なく検査出来ます。

撮像に関して、疑問点やご要望などございましたら、お気軽にご相談下さい。

お問い合わせ先：放射線部MRI部門係長米山（聖隷放射線部直通電話053-474-7220）

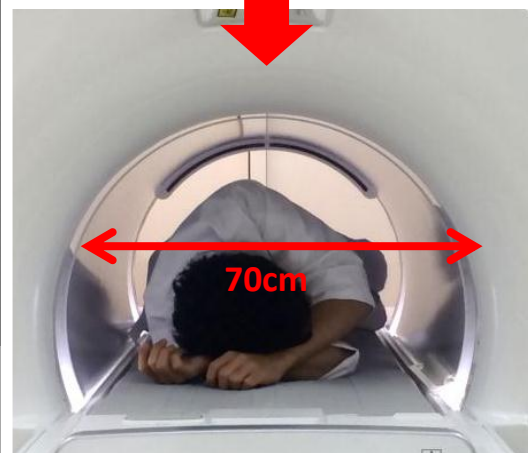


T2強調画像脂肪抑制あり
冠状断 小児腰椎分離症



T2強調画像矢状断
破裂骨折・ヘルニア

ワイドボアなら写真のように
側臥位で検査出来ます



放射線部の認定資格紹介

★ 血管撮影・インターベンション専門技師 2名

Interventional Radiology(IVR)とは、X線装置を用いて術者が血管内に入れたカテーテルを操作し診断及び治療を行うことを言います。IVRは体に大きな傷を付けること無く治療をすることが出来ますが、X線装置を用いるため放射線被ばくは避けられません。

現在当院のカテ部門には11名所属し、2名の血管撮影・インターベンション専門技師が在籍しており、X線撮影や画像処理、装置の管理を行い、患者様に低被ばくで安全な治療を提供できるよう励んでいます。



現在の予約状況（緊急検査は随時対応致します）

《CT》	即日対応可	《PET》	翌平日対応可
《MRI》	約1週間以内	《放射線治療》	随時受付中

ご予約・お問い合わせ
地域医療連携室（JUNC）まで



0120-107-352

受付時間

8:30～18:30（月～金）

8:30～12:30（土） ※日祝日は休み